



関西クィア映画祭

@kqff\_official

フォロー中



すでにトランス女性のフェミニズムが  
始まっている

# #今日は会って話そう



1:00 PM - 10 Feb 2019



## #今日は会って話そう

すでにトランス女性のフェミニズムが始まっている

トランス女性の権利とフェミニズムについて、Twitterで炎上が続いています。より実りある対話のために、直接会ってお話しませんか。参加者一人一人が自分の言葉で話し、またそれを聞く場にしましょう。

日時：2月10日(日)13:00 - 17:00 準備と片付けも一緒にお願いします

場所：ウィングス京都(京都市男女共同参画センター)

参加費：お茶代を含めて500円

要申込：2月9日(土)正午まで先着15名 申込先 [info@kansai-qff.org](mailto:info@kansai-qff.org)

## 既にトランス女性のフェミニズムが始まっている

トランスジェンダーの存在と権利がここまで可視化してきた日本の歴史には、(積極的にそのように自称しているかは別として) 様々なシスジェンダーのフェミニスト達のサポートもあった。トランス女性の権利について話す時、「私たちトランスジェンダーは、フェミニスト達に借りがある」ということを、私はまず踏まえたい。

とはいえ、「全ての」フェミニスト達がトランス女性の権利を尊重してきた訳では、もちろんない。Twitter での炎上でも明らかなように、フェミニズムの中にもトランス差別はある。(他には、例えばセックスワークを巡り、フェミニズム内に意見の違いがあり、つまりセックスワークへの差別もある)

フランス人権宣言が「すべての人は」と言う時、その「人」には男性しか含まれていなかった歴史は有名だ。そして「フェミニズムの中に、今この集まりの場にも、異性愛主義や日本人中心主義がある!」との鋭い批判が、私の学生時代に可視化した。「女性」と言う時、「日本人・健全者・異性愛の女性」だけを想定し、朝鮮人の女性、障害者の女性、レズビアンなどの存在を無視したフェミニズムでいいのか、と。「女性」内部にある差別を告発し、様々な「女性」の異なる経験を可視化させ、女性の定義を広げてきたのもまたフェミニストだった。だから、シス女性とは異なる経験をする存在としてのトランス女性を含んでフェミニズムが語られるようになるのは、私には時間の問題に思える。何人ものトランス女性が今ネット上で自分の経験を語っている。その内容それ自体が、既に、トランス女性のフェミニズムなのだ。

と同時に、差別はすぐにはなくなる。日本人中心主義や健全者主義、異性愛主義、性労働嫌悪は、長年の指摘にも関わらず今でもフェミニズムの中にもある(例えば数年前の、クィア学会の日本語要件/日本人中心主義)。それをさておいて、トランス女性への差別だけが先に無くなると考えるのは、無理がある。

加えて、主観的には本当に差別に反対したいと思っている人の言動が、的外れや不十分なのも、いつものよくあることだ。

だからこそトランス女性にとって、差別がまだ残っている日常の下で生き延びる事も重要になる。ネット上で主張し啓蒙活動をするだけでなく、信頼

できる人と実際にリアルに対面して知り合っておくことの重要さがここにある。

さらに、トランス女性の排除を訴える主張が、主観的には「女性差別に反対する」目的でなされていることにも注目したい。社会的に差別を受けている人が、周りを抑圧したり切り捨てて自己実現/保身を図ろうとするのは、社会運動の歴史から見れば決して例外的なことではない。(例えば2000年代初めの「レズビアン&ゲイ・パレード」の名称問題)

トランス女性の権利と、シス女性の安心とが、まるで対立関係であるかのように見えてしまうカラクリは何だろう。私は、シングルイシュー的な単純化した考え方をやめることが重要だと思う。「女性」も一枚岩ではなく、「女性」内部にも権力関係や差別がある。「ある面では差別を受ける少数派」だけど、別のある面では「誰かを差別する多数派」でもあるのだ。

「女性」内部にも権力関係があるように、トランスジェンダーといっても様々だ。例えば、トランス女性の有名人は何人もテレビ出演している一方、トランス男性は?トランスジェンダーの有名人な学者はトランス女性ばかりなのはなぜ?トランス差別という点でトランス女性が理不尽な目にあっているのは間違いない。しかし、全ての点で、トランス女性がいつも差別されるだけの存在だという訳ではないはずだ。

トランス男性のジュールズ・ロスカム監督は、トランス男性と男性特権との関係について、映画を使って真摯に考え表現してきた。日本でも、遠藤まめたさんの発言はとても鋭い(「#トランス女性は女性です」が問うているフェミニズムの課題 <https://wezz-y.com/archives/62714>)。そんなトランス男性たちの試みから、学ぶべきなのではないか。

トランス差別を許さないことが重要である一方、1人1人が率直に発言しながら失敗もしつつ試行錯誤することも不可避だ。確信犯のトランス差別は別としても、少しのミスで大騒ぎして相手をやり込めることに熱を上げる炎上ではなく、対話を通じて1人1人が成長していけるような動きを、作っていききたい。

(ひびのまこと <http://barairo.net/>)

主催:関西クィア映画祭 実行委員会  
申込み:[info@kansai-qff.org](mailto:info@kansai-qff.org)



Web <https://kansai-qff.org/> Twitter @kqff\_official  
Facebook @KansaiQFF Instagram kqff\_official  
留守電 080-3820-2731 FAX 06-7878-8882

第13回  
関西クィア  
映画祭  
2019

2019年秋  
開催予定!



コンペ作品募集中!!  
応募締切 2019年4月末日

コンペ応募ページは  
こちらから  
[https://kansai-qff.org/  
2019/compe.html](https://kansai-qff.org/2019/compe.html)

